

平成24年3月9日

各企業・団体等の人事担当者 様

インターンシップ推進連絡会会長
(鹿児島県商工労働水産部)
産業立地課 産業支援対策監

平成24年度インターンシップにおける参加企業の募集について(依頼)

本県の地域産業の振興につきましては、日頃から御協力いただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、大学生等が在学中に自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行う「インターンシップ」は、平成10年度から取組を行っており、平成23年度は53の企業等の協力を得て、17大学等400名の学生が参加しております。

インターンシップは、学生等へ貴社についての理解を深めていただく良い機会となるとともに、社員が学生を指導することで、社員自身の成長・仕事に対する意識の向上につながるなどの評価をいただいております。

このような中で、平成24年度からは企業・学校・学生の皆様の利便性の向上を図るため、NPO法人産学連携教育日本フォーラム(WIL)が運営するインターネットのサイト上でマッチング作業や連絡調整等が可能な「キャンパスウェブ」を活用した体制に移行したいと考えており、去る2月23日(木)に利用説明会を開催し、約60の企業等に御参加いただいたところです。

つきましては、平成24年度インターンシップにおける学生の受入れについて御検討の上、下記によりお申込みくださるようお願い申し上げます。なお、すでにお申込みいただいた企業等、また、これまでにキャンパスウェブ参加申込書を当方へ御提出いただいている企業等におかれましては、下記お申込みの必要はございません。

記

1 お申込み：インターネットによりお申込みください。

キャンパスウェブへのアクセス方法

(1)：以下のURLを直接入力

<http://www.campusweb.or.jp/internship/web/company-subscribe/>

(2)： 検索サイトにアクセスし、「キャンパスウェブ 企業参加申し込み」と入力
「企業参加申し込み 企業のみなさま_インターンシップ・キャンパスウェブ
~学校・学生・企業等をつなぐインターンシップ支援サイト~」をクリック

キャンパスウェブにアクセス後のお申込み方法

必要事項を入力、承認事項をお読みの上、「上記事項を承認の上、申し込む」をクリックして送信

お申込み後の実施スケジュール・県内でのルール等を含めた利用方法につきましては別紙「鹿児島県内でのキャンパスウェブ利用について」を御覧ください。

2 お申込み期限：平成24年3月21日(水)

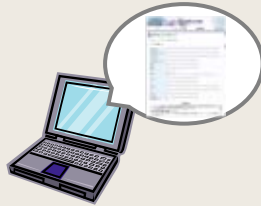
3 お問い合わせ先

- ・ インターンシップ推進連絡会事務局(鹿児島県商工労働水産部産業立地課)
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1
TEL：099-286-2970 FAX：099-286-5578 E-mail：gijyutu@pref.kagoshima.lg.jp
- ・ NPO法人産学連携教育日本フォーラム(WIL)
〒162-0843 東京都新宿区市谷田町2-7-15 近代科学社ビル5階
TEL：03-3560-5665 FAX：03-5562-3666 E-mail：campusweb@npowil.org

インターンシップ・キャンパスウェブ お申し込みからご利用開始までの手順 (平成23年度鹿児島県内用)

STEP1

参加申込み



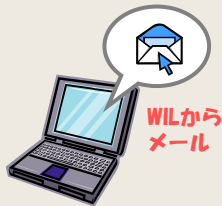
インターンシップ・キャンパスウェブ参加申込フォームからお申し込みください。

こちらから→<http://www.campusweb.or.jp/internship/web/company-subscribe/>
※利用規約・プライバシーポリシーを事前によくお読みください。



STEP2

アカウント通知書
利用マニュアル
登録フォーム(下書き用)



NPO法人WILより、アカウント通知書・企業システムご利用方法・登録フォーム(下書き用)をメールにて送付させていただきます。



STEP3

ご利用開始

インターンシップ・キャンパスウェブをご利用いただくことができます。

ログインをしてご利用ください。

登録フォーム(下書き用)を参考に、インターンシップ募集情報等をご入力ください。

以上の流れで、3月中に可能な限り

①会社情報

③インターンシップ募集情報

をご入力ください。

(4月から学生が参加し始めるためです。)

NPO法人WILとは

“産学官民の連携による人材育成の基盤作りを通じ、ひとりひとりが自らの未来を切り開く社会の構築に貢献する”を設立目的とし、新しい人材育成メソッド創りのプロデューサーとして活動しています。
平成元年より21年にわたり、インターンシップを主とした調査・啓発活動、プログラム作りなどを中心に、右のような事業を展開しています。

1. インターンシップモデルカリキュラム開発・実施
2. マッチングサイトサービス
3. 調査研究・コンサルティング
4. キャリア教育教材／プログラム開発・実施
5. 海外組織との情報交換・人的交流サービス

団体概要

組織名	特定非営利活動法人 産学連携教育日本フォーラム(NPO法人WIL) Japan Forum for Work Integrated Learning
事業所	〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-44 福吉坂ビル Tel : 03-3560-5665(代表) Fax : 03-5562-3666 URL : http://www.npowil.org/
設立	平成15年7月 NPO法人として登記(平成元年より活動開始)
設立目的	産学官民の連携による人材育成の基盤作りを通じ、ひとりひとりが自ら未来を切り拓く社会の創造に貢献する
代表理事	宮川 敬子
副代表理事	大澤 勝(日本福祉大学総長／東海地域インターンシップ推進協議会副会長／WACE世界コーオプ教育協会理事)
理事 (五十音順)	大江 健 坂本 吉弘 高村 眞司 立石 信雄 包 凡 福岡 道生 古谷 千里 堀井 紀壬子 松井 賢一
監事	町山 三郎

代表理事紹介



特定非営利活動法人 産学連携教育日本フォーラム(NPO法人WIL)代表理事
(株)ILCC(インターナショナルランゲージアンドカルチャーセンター)代表取締役社長
世界コーオプ教育協会(WACE)理事

- 1973年 上智大学外国語学部英語学科卒業
- 1976年 同窓生と共に、(株)ILCCを起業
- 1988年 自らの事業の経験を通じて人材育成の重要性を感じ、教育・人材育成・就職・採用分野における日米交流事業、日本国内、および国際的な産学連携教育(インターンシップ)の調査研究、推進活動を実施。
- 2003年 NPO法人WILを設立

実績

年度	事業名	委託先等
平成元年	NACE日本および東南アジア地域代表事務所設立	
平成2年	ILCCポストン事務所開設	
	米国大学新卒採用環境調査団実施	(社)日本在外企業協会委託事業
平成5年	国際シンポジウム「日米就職問題研究会」主催	
平成6年	日本における欧米諸国からの大学生の企業内研修生の受入・協力状況に関する調査研究	(財)国際経済交流財団委託事業
平成7年	日本における欧米大学生のインターンシップ推進活動に関する調査研究	(財)国際経済交流財団委託事業
平成8年	地方都市における、欧米大学生・社会人のインターンシップ受入に関する事例調査	(財)国際経済交流財団委託事業
	欧米大学生・社会人のインターンシッププログラム運営団体の横の連絡会実施 米国における産業共同人材育成制度～コーオペ教育プログラムと大卒者の初期キャリア調査～ 就職課システム研究会主催(参加大学:早稲田,立教,東海,フェリス女学院,東京理科) インターンシップハンドブック(企業編)発行	
平成9年	「インターンシップ導入のための調査研究」	中小企業庁
	東海地域におけるインターンシップ導入モデル事業コンサルティング	東海地域インターンシップ推進協議会
	「JITMTPインターンシップレポート」制作	日本貿易振興会
平成10年	「インターンシップ導入促進に関するハンドブックの作成に関する調査」	産業基盤整備基金
	「地域におけるインターンシップ導入促進に関する調査研究」	通商産業省
	「米国の文理融合学科関連調査」 「イノベーション人材の育成に関する文献収集・分析等調査」	(株)テクノリサーチ研究所
	「JITMTPインターンシップレポート」制作 国際インターンシップ情報誌「Internship Link」1号、2号発刊 「国際インターンシップ促進セミナー事前アンケート調査」	日本貿易振興会
	広域連携プロモータとして活動	中小企業総合事業団
平成11年	国際インターンシップ情報誌「Internship Link」3号発刊、4号発刊 「企業のための国際インターンシップハンドブック」制作	日本貿易振興会
	教育の情報化推進事業 新しい教育形態・システム提案につながる情報技術及び高度な利用技術の開発ならびにそれに係る実証実験として、「産学連携インターンシップ支援システムの開発」 北海道・東北・関東広域・東海の各地域事業の情報インフラとして運営	情報処理振興事業協会
	広域連携プロモータとして活動	中小企業総合事業団
	「インターンシップ推進組織のあり方についての調査研究」	産業基盤整備基金
	「産学連携によるインターンシップ推進のあり方に関する調査研究」	文部省
平成12年	「JITMTPインターンシップレポート」制作 国際インターンシップ情報誌「Internship Link」5号発刊、6号発刊	日本貿易振興会
	広域連携プロモータとして活動	中小企業総合事業団に関わる業務
	東京都インターンシップに関する意向調査	東京都
	「産学連携によるインターンシップの受入れ開拓に関する調査」	産業基盤整備基金
	「産学連携によるインターンシップ推進の在り方に関する調査研究」	文部科学省
	インターンシップ支援システム「キャンパスウェブ」の運営及びインターンシップ支援センターの開設 平成11年「産学連携インターンシップ支援システム」バージョンアップし、東北・関東広域・東海の各地域事業の情報インフラとして運営	

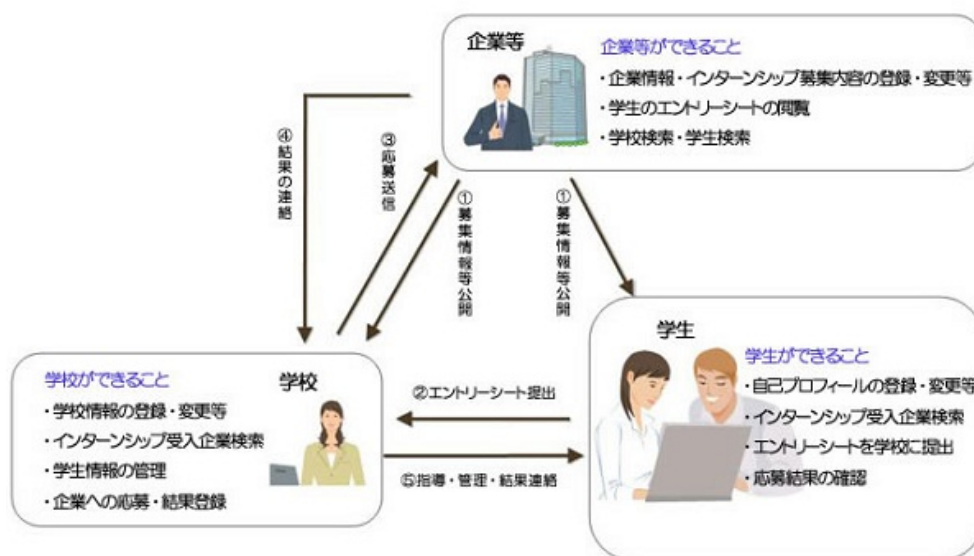
平成13年	インターンシップ支援システム「キャンパスウェブVer.2.0」の運営及びインターンシップ支援センターの開設 東北・関東広域・東海・四国の各地域事業の情報インフラとして運営	
平成14年	「米国イノベティブ人材育成プログラム」開発・実施(平成14年度産学連携人材育成・支援事業の一環) 米国バブソン大学における「ベンチャーキャピタリスト養成プログラム」開発・実施(平成14年度産学連携人材育成・支援事業の一環) 平成14年度技術基盤強化事業(産業技術人材育成インターンシップ推進支援事業)	経済産業省
平成15年	NPO法人WIL設立	
	「大学発ベンチャー創出人材育成・短期集中プログラム」開発・実施(技術経営(MOT)プログラム等開発事業支援プログラム) 産業構造審議会産学連携推進小委員会報告	経済産業省
	インターンシップ受入企業開拓事業「ハイパーキャンパスシステムの運営」 インターンシップ受入企業開拓事業情報サイト「SSCサイト」制作運営	日本経団連
平成16年	平成15年度産業技術人材育成事業普及啓発委託事業 中小企業のための「地域密着型ものづくり技術革新等」インターンシップ開発支援事業 「米国コーオプ教育調査」	経済産業省
	米国大学経営ミッションセミナー	経済産業省
	現代GP(現代的教育ニーズ取組)選定委員会第5部会(人材交流による産学連携教育)委員	文部科学省
	インターンシップ受入企業開拓事業「ハイパーキャンパスシステムの運用」 インターンシップ受入企業開拓事業情報サイト「SSCサイト」制作運営	東京経営者協会
平成17年	「インターンシップ推進フォーラム2005」企画運営	文部科学省
	現代GP(現代的教育ニーズ取組)選定委員会第5部会(人材交流による産学連携教育)委員	文部科学省
	インターンシップ受入企業開拓事業「ハイパーキャンパスシステムの運用」 インターンシップ受入企業開拓事業情報サイト「SSCサイト」制作運営	東京経営者協会
	コンテンツ業界プロデューサー育成のためのインターンシップ制度設計コンサルティング	某教育機関
	「平成15、16年度インターンシップ実施状況調査」支援	文部科学省
	「インターンシップ運営に関する高等教育機関アンケート調査」実施 『インターンシップ／産学連携教育白書』発行	WIL
	『長期実践型インターンシップガイドブック』調査・制作	経済産業省
平成18年	「インターンシップ推進フォーラム2006」協力・運営	文部科学省
	現代GP(現代的教育ニーズ取組)選定委員会第5部会(人材交流による産学連携教育)委員	文部科学省
	インターンシップ受入企業開拓事業「ハイパーキャンパスシステムの運用」 インターンシップ受入企業開拓事業情報サイト「SSCサイト」制作運営	日本経団連
	留学生向けカリキュラム「海外人材活用のための基礎調査」調査実施・モデル事業実施	経済産業省
平成19年 ～21年	「インターンシップ推進フォーラム2007」協力・運営	文部科学省
	アジア人材資金構想における高度実践留学生育成事業「Career Gateway to Asia」実施	経済産業省
	インターンシップ受入企業開拓事業「ハイパーキャンパスシステムの運用」 インターンシップ受入企業開拓事業情報サイト「インターンシップ推進支援NET」制作運営	厚生労働省
平成22年 ～現在	ディズニー国際インターンシッププログラム実施	WIL
	高度実践留学生育成事業「Career Gateway to Asia」実施	WIL
	インターンシップ支援システム「インターンシップ・キャンパスウェブの運用」	WIL

鹿児島県内でのキャンパスウェブ利用について

平成24年度より、企業等・学校・学生の皆様の利便性の向上を図るために「キャンパスウェブ」を利用する新たな体制へ移行したいと考えております。

1. キャンパスウェブとは

- ・ NPO法人産学連携教育日本フォーラム(略称WIL)が運営するインターンシップを実施する学校・学生と企業等をつなぐインターネット上の支援サイトです。
- ・ 企業等はインターンシップ募集情報をサイト内に公開し、学生は学校の管理のもと、希望の企業等を探し、応募することができます。



2. 企業等（企業・公的機関）のメリット

- ① 利用料は一切かかりません。
- ② ネット上で手軽に学生が企業検索できるため、学生・学校への PR 効果が高まります。
- ③ 学校が登録を認めた学生のみ参加でき、参加学生全員が学生側の負担で「学生教育研究災害傷害保険」等に加入します。
- ④ 一度登録すれば、次年度以降は変更が生じた内容を更新すれば引き続き利用できます。
- ⑤ 学校から送信される学生のエントリーシートをもとに、多様な観点から学生を選考することができます。

3. 学生・学校のメリット

- ① ネット上で企業情報の確認・インターンシップの申請ができるため、学生の利便性が向上します。
- ② 学校の管理画面において登録学生の進捗状況が確認できるため、管理がしやすくなります。
- ③ 各学校のキャリア教育の取り組みを企業等に PR できます。
- ④ 企業等側で掲載内容が随時更新できるため、学校・学生が情報を把握しやすくなります。
- ⑤ エントリーシートをもとに選考されるため、学生の考え方・姿勢が企業等側に伝わりやすくなります。

4. 運営団体

◎ NPO法人産学連携教育日本フォーラム（略称WIL，所在地：東京都）

インターンシップを主とした調査・啓発活動，プログラム作りを中心に，平成15年のNPO法人化後，経済産業省，文部科学省，厚生労働省，日本経済団体連合会等から多くのインターンシップ関連事業の受託実績があり，平成22年度からは独自事業としてキャンパスウェブを運営しています。

平成23年度のキャンパスウェブ参加登録状況
 参加学校数 114(学部学科)
 参加企業数 400社(全国)

5. 実施スケジュール概要（新旧比較）

～平成23年度（現行）			平成24年度～		
時期	実施主体	内容	時期	実施主体	内容
1月 ～ 3月	経営者協会 経済同友会 商工会議所連合会 工業倶楽部 県 企業等	インターンシップ 参加企業等の募集 経営者協会・経済同友会・県 が仲介 ・参加申込書を作成 ・県を介して学校・学生へ	1月 ～ 3月	経営者協会 経済同友会 商工会議所連合会 工業倶楽部 県 企業等	インターンシップ 参加企業等の募集 キャンパスウェブを利用 ・企業情報・インターンシップ 募集情報の登録 ※以後随時更新が可能
4月 ～ 6月	学校 学生 学校 企業等 学校 学校	学生へのガイダンス ・参加申込企業等選択 ↓ ・学生希望取りまとめ ・県等を介して企業等へ ・1次マッチング申込み：5月上旬 ・2次マッチング申込み：6月上旬 ↓ ・マッチング調整 ・結果を県等を介して学校へ ・1次マッチング回答：5月下旬 ・2次マッチング回答：6月中旬 ↓ ・結果を学生に連絡 受入企業等に連絡をとり， 具体的な調整を進める	4月 ～ 6月	学校 学生 学校 企業等 学校 学校	学生へのガイダンス ・新規登録（学生情報登録） ・希望企業等検索 ・エントリーシートを学校へ送信 ↓ ・学生希望取りまとめ ・エントリーシートを企業等へ送信 ①1次マッチング申込期間：4月1日～5月第3金曜日まで ②2次マッチング申込期間：1次マッチング回答期間終了後 ～6月第3金曜日まで ↓ ・マッチング調整 ・結果を学校へ送信 ①1次マッチング回答期間：5月第3土曜日 ～2週間後の週の金曜日まで ②2次マッチング回答期間：6月第3土曜日～6月第4金曜日まで ↓ ・結果を学生に連絡 受入企業等に連絡をとり， 具体的な調整を進める
7月 ～ 12月	企業等	《インターンシップ実施》	7月 ～ 12月	企業等	《インターンシップ実施》

6. インターンシップ実施時期・実施期間

時期：学生の夏季休暇である8～9月が中心となりますが，受入企業等の事情によっては，これ以外の時期も可能です。

期間：原則として5～14日間程度ですが，受入企業等と各学校との調整によっては，これより長期の実施も可能です。

7. 鹿児島ルール

・ 想定対象学年

大学, 短期大学, 工業高等専門学校, 私立専修学校における最終学年の1学年前に在学する鹿児島県内の学生が対象となります。
(ただし, 原則として「大学院生」「工業高等専門学校の専攻科課程の学生」は除きます。)

・ 企業等・学校の担当者様へのお願い

(1) 各企業等が学校からの最終申込締切日(「インターンシップ募集情報」の「申込締切日」欄で編集)を7月以降に設定する場合は, 新たに下記①・②の申込期間・回答期間を設けてマッチングを進めるようにしてください。ミスマッチを防ぎ, 1人でも多くの学生がインターンシップに参加できるよう御協力をお願いいたします。

1次マッチング 申込期間: 4月1日～5月第3金曜日まで (学校 企業等)

1次マッチング 回答期間: 5月第3土曜日

～2週間後の週の金曜日まで(企業等 学校)

2次マッチング 申込期間: 1次マッチング 回答期間終了後

～6月第3金曜日まで (学校 企業等)

2次マッチング 回答期間: 6月第3土曜日～6月第4金曜日まで (企業等 学校)

※ 4月に最終申込締切日を設定する企業等については, 学校への回答期間を, 上記1次マッチング回答期間と同じとしてください。

※ 当初, 5～6月に最終申込締切日を設定しようとする企業等については, 上記①・②のスケジュールでマッチングを進めるようにしてください。

※ 受入予定人数に達し, これ以上の学生の受入を行わない企業等は, 上記①・②それぞれの回答期間中に, 最終申込締切日を, その期間中の日付に変更し, 学校から申込みができない状態にしてください。

(2) 学生は一度に複数の企業等へは申込まず, 企業等からの結果通知でミスマッチが判明した場合に新たな企業等へ申込んでください。

(3) 学校は学生の受入決定後, 必ず担当者から各企業等の担当者へ連絡を取り, 具体的な調整を進めてください。

(4) 学校は学生の受入決定後, 必要があれば5つの様式(覚書, 研修要件の概要書, 誓約書, 自己紹介書, 学生の研修評価報告書)を適宜御利用ください。

(5) 受入企業等は, 学生を研修生として受け入れ, 研修カリキュラムを作成してください。

(6) 学生に対して, 賃金の支払いは行いません。また, 実習期間中の交通費・食事代は, 原則として学生側で負担します。

(7) 実習中の事故等に備えるため, 参加学生全員が学生側の負担で「学生教育研究災害傷害保険」及び「インターンシップ保険」等に参加するようにしてください。

8. 事務局大学について（平成24年度のみ）

- ・平成24年度のみ^の暫定的な措置として、キャンパスウェブ上に「事務局大学」という架空の学校を作り、キャンパスウェブを個別で利用できない学校の学生が、企業に申込みができるようにしました。
- ・企業等の皆様の対応方法は、個別利用学校相手の場合と違いありませんが、以下が異なります。
 - ①事務局大学を利用する学生が、本来どこの学校に所属しているか把握するため、学生の氏名の欄に「〇〇大学山田太郎」と記入してあります。それは、事務局大学から学生のエントリーシートが提出されてきた時、一覧画面で本来所属している学校名でも検索ができるようにするためです。
 - ②企業が受入可能と回答した事務局大学の学生については、インターンシップ実施前の調整について、本来所属している学校の担当者から連絡がきます。担当者連絡先は事務局大学のページに掲載してあります。

9. キャンパスウェブ利用学校（平成24年度）

〔大学〕

鹿児島大学、鹿屋体育大学、鹿児島国際大学、志学館大学、鹿児島純心女子大学

〔短期大学〕

鹿児島純心女子短期大学、鹿児島女子短期大学、鹿児島県立短期大学、
鹿児島国際大学短期大学部

〔専修学校〕

KCS鹿児島情報専門学校、原田学園ハイテク専門学校グループ（原田学園ハイテク
専門学校・原田学園デジタルアーツ専門学校・原田学園ビューティー専門学校）

※波線の学校は、平成24年度に関しては事務局大学を利用します。

※利用学校の構成は今後変化する場合があります。

10. キャンパスウェブ利用企業等・学校・学生スケジュール

(1) 個別でキャンパスウェブを利用する学校の場合(平成24年度～)

時期	企業等	学校 (個別で利用する学校)	学生
～3月	<ul style="list-style-type: none"> ◎ネットで参加申込み、もしくはキャンパスウェブ参加申込書を県に提出 ◎WILから募集情報記入依頼のメールが届くので、書ける範囲で記入 ◎WILからアカウント通知書を受け取る ◎ユーザID、仮パスワードを入力してログインし、本パスワードを設定 ※注1 ◎会社情報、募集情報の追加・修正 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ネットで参加申込み ◎WILから登録通知書を受け取る。 ◎学校ID、仮パスワードを入力してログインし、本パスワードを設定。 ※注1 ◎学校情報の登録・確認 	
4月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ◎会社情報、募集情報の追加・修正 ◎学校情報の検索 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学生向けガイダンス等の実施 学生へキャンパスウェブ登録案内し、学生マスターID、学生マスターパスワードを学生に教える 	<ul style="list-style-type: none"> ◎キャンパスウェブへ登録 学生マスターID、学生マスターパスワードを入力して基本情報を入力し、学生個人のIDとパスワードを取得 (学校担当者メールアドレスに自動メール) ※注2
4月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ◎会社情報、募集情報の追加・修正 ◎学校情報の検索 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学生からエントリーシート提出 内容を確認し、企業等へ応募送信(企業等担当者メールアドレスに自動メール) ※内容を修正させる場合は質問・連絡BOXで学生へ連絡。企業等へ応募送信前であれば、書き直し・再提出させることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎企業等検索 ◎応募する企業等の決定 ◎エントリーシートの作成・提出 (学校担当者メールアドレスに自動メール)
～	<ul style="list-style-type: none"> ◎学校からエントリーシート提出 選考の上、受入の可否を質問・連絡BOX、メール、電話等で各学校へ回答 		
6月		<ul style="list-style-type: none"> ◎学生のエントリーシート画面で選考結果を登録 ※登録内容は学生システムに自動的に反映される ◎質問・連絡BOX、メール、電話等で学生に連絡 ◎質問・連絡BOX、メール、電話等で企業等に連絡をとり、具体的な調整を進める 	
7月 ～ 12月	《 インターンシップ実施 》	<ul style="list-style-type: none"> ◎学校担当者から連絡がくるので、受入決定学生について具体的な調整を進める 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学校を介して企業等と具体的な調整を進める

注1 本パスワードは必ずメモを取っておく。
注2 個人IDとパスワードは必ずメモを取っておく。

1.1. 鹿児島県内でのキャンパスウェブ利用に関するQ A

23日の利用説明会では時間の関係で説明が不十分でしたので、質疑応答の内容も含め、以下で改めて説明します。

キャンパスウェブに登録いただける場合は、企業等の皆様は、NPO法人WILLからアカウント通知書を受け取り、3月中に可能な限り会社情報・インターンシップ募集情報を入力してください。(4月から学生が参加し始めるためです。)

23日の利用説明会の資料として、学校等の意見も踏まえ推進連絡会でまとめた「鹿児島ルール(案)」を皆様に配布しましたが、利用説明会後に開催した推進連絡会で正式に「鹿児島ルール」として決定しましたので、お知らせします。マッチング申込期間、マッチング回答期間等に若干の変更がありましたので、御確認ください。また以下の質疑応答は、全て「鹿児島ルール」に関連するものですので、参考になさってください。

(1) 鹿児島ルール

(1) 1 鹿児島ルールとは何か。

鹿児島ルールは、これまで「インターンシップ推進連絡会」で取り組んできたインターンシップの仕組みをルール化したもので、「これまで積み上げてきた鹿児島県内のやり方でキャンパスウェブを利用できるように」したものです。

(2) キャンパスウェブ利用

(2) 1 掲載期間はどのよう設定すればよいか。

「インターンシップ募集情報」の「掲載期間」欄で編集できます。掲載期間を終了させてしまうと、「インターンシップ募集情報」だけでなく「会社情報」も学生・学校が閲覧できなくなってしまうので注意が必要です。

(2) 2 最終申込締切日はどのよう設定すればよいか。

最終申込締切日とは、各企業等で定める「この日で受入学生の募集を完全に終了したい」日付のことで、「インターンシップ募集情報」の「申込締切日」欄で編集するものです。

鹿児島ルールでは、1次・2次マッチング期間((3)で説明)を設けており、企業等によっては早期に受入予定人数に達する場合も想定されますので、「申込締切日」備考欄に「受入人数が充足した場合は、申込締切日を繰り上げる可能性があります。」等と記載しておけば、学校・学生側も前もって理解ができるのではと思われます。

(2) 3 エントリーシートで必ず申込むのか。

選考にあたり、学生の考えを知る上で有益ですので、エントリーシートで申込みをさせるようにしてください。

(2) 4 例えばある企業に1つの学校から学生20名分のエントリーシートが送信されたことを企業担当者に知らせるメールはどう届くのか。

20回メールが届きます。

(3) 1次・2次マッチング期間中

(3) 1 1次・2次マッチングを設ける理由は何か。

従来の方法では、5～6月に計2回マッチング期間を設け、大多数の学生のマッチングを行っていました。

鹿児島ルール(1)、(2)で、5～6月に1次・2次マッチング時期を設け、学生が一度に申込み企業数を1社に限定しているのは、以下の理由からです。

企業の決定が一部の学生に集中することを防ぎ、1人でも多くの学生がインターンシップに参加できるようにするため
学生の辞退多発等による企業側の負担を軽減するため

(3) 2 最終申込締切日と1次・2次マッチングの申込期間との違いは何か。

最終申込締切日とは、各企業等で定める「この日で受入学生の募集を完全に終了したい」日付のことで、キャンパスウェブ中の「インターンシップ募集情報」の「申込締切日」欄で編集するものです。

1次・2次マッチングの申込期間は、企業等と学校間でマッチングを円滑に行うため鹿児島ルールの中で設けているもので、これはキャンパスウェブ中に日付を入力する必要はありません。1次・2次マッチングの申込期間でも、学校から企業等へキャンパスウェブを通じてエントリーシートで申込みれてきます。

(3) 3 1次・2次マッチングの対応は。

1次・2次マッチングでは学校から企業等への申込期間、企業等から学校への回答期間を守り、受入決定後は必ず学校の担当者から企業等の担当者に連絡を取り、具体的な調整を進めてください。

期限を過ぎても回答がない場合等は、それぞれの学校・企業等から問い合わせがくることになります。

(3) 4 4月に最終申込締切日を設定する場合は。

企業等側の事情でどうしても4月に最終申込締切日を設定したいところもあることから記述しております。

4月に最終申込締切日を設定する場合は、1次マッチングと足並みを揃えるために、学校への回答期間を、「5月第3土曜日～2週間後の週の金曜日まで」としてください。

(3) 5 1次・2次マッチング期間中の受入募集の終了はどうしたらよいか。

受入予定人数に達し、募集を終了する場合は、1次・2次マッチングそれぞれの回答期間中に、最終申込締切日(「インターンシップ募集情報」の「申込締切日」欄で編集)を、その期間中の日付に変更すれば、学校からエントリーシートの申込みができない状態になります。回答期間中に日付を変更しないと、学校からエントリーシートの申込みがくる恐れがあります。

日付を変更することで、学校からエントリーシートの申込みはできなくなりますが、別途企業等側で設定する掲載期間内であれば、会社情報・インターンシップ募集情報は引き続き閲覧できる状態になっていますので、学校・学生へのPR効果が期待できます。

また、募集を終了する場合は、「申込締切日」備考欄に「受入予定人数に達したため、申込みを締め切りました。」等の説明を記載した方が学校・学生側も状況を把握しやすいと思われます。

H24年度の例：当初、最終申込締切日を7月20日に設定(「インターンシップ募集情報」の「申込締切日」を「2012年7月20日」と編集)していたが、学校からの5月18日申込締切りの1次マッチングで、受入予定人数に達し、これ以上学生を受け入れないことが企業等内で5月24日に判明した場合、「申込締切日」を「2012年5月24日」と編集し直す。

(3) 6 1次・2次マッチング回答後に、まだ受入人数に余裕がある、または受入人数を増やす場合はどうしたらよいか。

1次・2次マッチング後、ミスマッチの学生は企業等の受入予定人数を見ながら、企業等を検索することになりますので、受入予定人数に達していない場合や、受入予定人数を増やす場合は、「インターンシップ募集情報」の「受入予定人数」を編集し直し、受入可能な人数を入力してください。

(4) 1次・2次マッチング期間後

(4) 1 1次・2次マッチング期間後の学校からの申込みへの対応は。

従来の方では、5～6月の計2回のマッチング期間後のマッチングについて、特に期限等は設定せず、主に学校が企業等へ直接申込んでいましたので、今後も2次マッチング後の申込みについては、各企業等の御判断で進めていただきたいと思います。

(4) 2 1次・2次マッチング期間後の受入募集の終了はどうしたらよいか。

方法は(3) 5と同じですが、受け入れないことが企業等内で判明した場合は、極力早めに最終申込締切日(「インターンシップ募集情報」の「申込締切日」欄で編集)を変更し、学校からエントリーシートの申込みができない状態にしてください。日付を変更しないと、学校からエントリーシートの申込みがくる恐れがあります。

また、募集を終了する場合は、「申込締切日」備考欄に「受入予定人数に達したため、申込みを締め切りました。」等の説明を記載した方が学校・学生側も状況を把握しやすいと思われます。

(5) その他キャンパスウェブ利用

(5) 1 今まで県等が仲介していたが、今後は学校と企業等の直接のやりとりになるのか。

そうなります。キャンパスウェブを利用して直接やりとりするメリットは以下の点と考えます。

システム上でやりとりするので企業・学校どちらも情報が整理しやすく、直接やりとりすることで、学生が企業検索により多くの時間をかけられます。

上記に併せ、従来は企業等が学生を選考する際に、学生の詳しい情報がないままに行っている場合が多かったが、学生からエントリーシートを提出してもらうことで、より多くの情報が揃うこととなります。

(5) 2 県外の学生の取り扱いについてはどうしたらよいか。

キャンパスウェブは、登録さえすれば日本全国の企業等や学校の学生が利用できるシステムですが、1次・2次マッチングの期間では、基本的に県内学生を選考を優先していただきたいと思います。

また、県では九州各県と連携して広域インターンシップを行っているので、そちらを希望する場合は、別途県から案内する手続きに従って申込み等を行っていただきたいと思います。

(5) 3 県外の企業等へのインターンシップはどうしたらよいか。

県外の企業等（実習地が鹿児島県内ではない企業等）については、鹿児島ルールの適用はできませんので、自由に申込み等していただいて構いません。

(5) 4 学校側で学生を選別してエントリーすることはできないか。

従来から、選別して送り出す学校もあれば、そうでない学校もあります。例えば、県内各学校から一定人数を募集したい場合、「インターンシップ募集情報」の「受入予定人数の自由記述」欄に「鹿児島県内各学校 名受入」等と記述する方法があります。

(6) 参加学校

(6) 1 キャンパスウェブを利用する学校の数。

今まで推進連絡会に加盟してインターンシップに参加している学校は14校あり、3月6日時点の動向は以下のとおりです。

24年度から参加する学校(1校単独): 9校

...鹿児島大学, 鹿屋体育大学, 鹿児島国際大学, 志学館大学,
鹿児島純心女子大学, 鹿児島純心女子短期大学, 鹿児島女子短期大学,
鹿児島県立短期大学, KCS鹿児島情報専門学校

事務局大学を利用して参加する学校: 原田学園ハイテク専門学校グループ

24年度は不参加の見通し: 4校

~ の学校で23年度インターンシップ参加学生数の9割近くを占めます。

(6) 2 キャンパスウェブを利用しない学校は, 別の手段でインターンシップを行うことになるのか。

従来から学校独自枠でもインターンシップを行っている学校が大半ですので, その独自枠を使って取り組まれるものと思います。

(6) 3 学校の参加如何に関わらず, 学生の意志でキャンパスウェブを利用できないのか。

多くの学生に参加していただきたいと考えておりますが, 教育上の問題でもあり, あくまで学生の所属学校の同意を得た上で, 学生が参加できるという形にさせていただきたいと思っております。

(7) 事務局大学

(7) 1 事務局大学とは何か。

12月にキャンパスウェブ利用を提案したところ, 24年度から単独利用できる学校と, 24年度は難しいが25年度からは利用できるという学校に別れたので, 24年度だけ過渡的な取り扱いとして, 単独利用できない学校の学生を「事務局大学」の学生として登録し, 事務局大学経由で企業へ申し込みができるように, NPO法人WILの御協力をいただいて, 鹿児島県内のみでの特例として実施できるようにしたものです。

(7) 2 事務局大学の運営は国際大学で決定か。

正式に予算議決されていませんが, 申し出をいただいているので, 委託の方向で検討しています。